

平成27年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	協働の推進に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	9	
政策	41計画の実現のために	担当課室	市民活動推進課			
施策	411地方分権と市民参加の推進	担当課室長	笠井 真利子			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	『市民との協働戦略プラン』の見直し等の検証や、市民活動支援補助金及び市民提案型モデル事業の制度を検証する。	③平成27年度に取組む改革・改善内容	「鎌ヶ谷市 市民との協働戦略プラン」改訂版の策定及び市民提案協働モデル事業の制度改正を行う。
②①に基づく取組み結果	市民活動支援補助金については、制度の改正を行った。 また、「鎌ヶ谷市 市民との協働戦略プラン」及び市民提案協働モデル事業については、見直しに必要な事務を進めた。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市民・自治会、市民公益活動団体、企業、市など多様な主体	意図(対象をどうするのか)	地域社会に共通する課題の解決や目標の実現に向けて協働の推進を図る。
②事務事業の概要	協働の推進を図るため、「鎌ヶ谷市 市民との協働戦略プラン」に基づき、各施策を展開する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	少子高齢化や地方分権の進展といった、社会的変化などにより、協働を取り巻く環境は著しく変化しており、その重要性はますます高くなっている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果	「鎌ヶ谷市 市民との協働戦略プラン」の見直しに係る検証 市民提案協働モデル事業の見直しに係る検証 市民活動支援補助金の制度改正 市民提案協働モデル事業について、1事業実施した。 地域づくりコーディネーター養成講座を3回開催し、延べ52名が参加した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
	i	市民提案協働モデル事業提案件数	1	1	—	件	業務取得
	ii	市民活動支援補助金申請件数	1	0	—	件	業務取得
iii							
③事務事業のコスト	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算(事業費)の主な内訳			平成27年度予算	
事業費(千円)	259	219	金額(千円)		内容	1,153	
国支出金(千円)	0	0	132		講師謝礼	0	
県支出金(千円)	0	0	51		消耗品費	0	
市債その他(千円)	0	0	22		一時保育業務委託	0	
一般財源(千円)	259	219				1,153	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	「鎌ヶ谷市 市民との協働戦略プラン」を現状に即した内容に見直す必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	5改善
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	「鎌ヶ谷市 市民との協働戦略プラン」策定から10年が経過し、社会情勢等が変化したため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成26年度の計画	平成26年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H25からの繰越	
		H25⇒26繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由		流用・充当				
		平成27年度への繰越額(単位:千円)				

平成27年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	市民活動推進センターの管理運営に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	9	
政策	41計画の実現のために	担当課室	市民活動推進課			
施策	411地方分権と市民参加の推進	担当課室長	笠井 真利子			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	市民活動推進センターウェブページをリニューアルし、市民活動推進センターの一層のPRを図る。また、公募した実行委員との連携及び意見集約を図り、(仮称)市民活動フェスタを市民との協働により成功させる。	③平成27年度に取組む改革・改善内容	市民活動フェスタ等のイベントや、市民活動推進センターのウェブページ及び広報誌等を活用し、積極的なPRに努める。
②①に基づく取組み結果	市民活動推進センターのウェブページをリニューアルし、市民活動推進センターの周知や、イベント情報などのPRを図った。また、公募した実行委員と連携を図り、市民活動フェスタを実施した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市民公益活動団体及び市民	意図(対象をどうするのか)	市民公益活動を行う市民を支援するとともに、市民のまちづくり意識の醸成を図る。
②事務事業の概要	市民活動推進センターを拠点とし、イベントの実施や情報発信等を通じて市民活動の推進を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	少子高齢化や地方分権の進展といった、社会的変化などにより、協働を取り巻く環境は著しく変化しており、その重要性はますます高くなっていることから、協働の担い手となる市民公益活動団体の強化や、市民活動を活発化させるための仕組みづくりが必要となる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果	市民活動推進センター登録団体数:125団体 市民活動推進センター来所者数:3,546人 市民公益活動相談件数:30件 市民活動推進センターウェブページアクセス数:9,451件						
②成果を表す指標	指標名称		平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
	i	市民活動推進センター来所者数	4,655	3,159	3,546	人	業務取得
	ii	市民公益活動相談件数	30	47	30	件	業務取得
	iii	市民活動推進センターウェブページアクセス数	7,034	7,694	9,451	件	業務取得
③事務事業のコスト	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算(事業費)の主な内訳			平成27年度予算	
事業費(千円)	2,376	2,457	金額(千円)	内容		2,395	
国支出金(千円)	0	0	1,187	プロジェクトマネージャー報酬		0	
県支出金(千円)	0	0	299	ホームページ作成等アドバイザー謝礼		0	
市債その他(千円)	0	0				0	
一般財源(千円)	2,376	2,457				2,395	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	市民活動推進センターの利用促進。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	市民活動推進センターの存在や活用方法について、団体や市民にさらなる啓発が必要であるため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成26年度の計画	平成26年度事業費の状況(単位:千円)			
	計画事業費	予算額		決算額
②計画に対する事業実績	0	当初		H25からの繰越
		H25→26繰越		
③達成状況		補正		0
④未完了・非着手の理由		流用・充当		現年分
		平成27年度への繰越額(単位:千円)		

平成27年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	男女共同参画推進に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	9	
政策	14個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります	担当課室	市民活動推進課			
施策	143男女共同参画社会づくり	担当課室長	大伯 昌司			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	成果指標である審議会等女性委員割合が下がっていることから、室として委員を推薦できる体制を充実させるとともに、同体制を周知していく。	③平成27年度に取り組む改革・改善内容	女性委員のいない審議会等を抽出したうえで、その理由について調査し、個別に女性委員の登用について働きかけていく。
②①に基づく取り組み結果	推薦体制の充実策として県の女性リーダー養成講座に1名の参加が得られた。また、男女共同参画関係団体からの推薦体制等について、庁内での周知に努めた。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	庁内各課	意図(対象をどうするのか)	全庁的に計画を推進することで、職場や家庭、地域等様々な場で女性の参画を促進していく。
②事務事業の概要	①鎌ヶ谷市男女共同参画推進計画の進行管理の実施及び公表 ②鎌ヶ谷市男女共同参画推進懇話会の開催			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	少子高齢化を起因とする人口減少問題などの解決に向け、家庭や職場、地域等あらゆる分野において男女が支え合いながら能力を発揮していく男女共同参画社会の形成が重要となる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果	推進懇話会を3回開催し、計画については「ほとんど実施できなかった」「実施していない」のそれぞれ1事業について担当課名を明記し、市ホームページにて進捗状況等を公表することで、市民への周知が図れた。						
②成果を表す指標	指標名称		平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
	i	審議会等女性委員割合	24.0	21.8	26.3	%	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算(事業費)の主な内訳			平成27年度予算	
事業費(千円)	189	143	金額(千円)		内容	288	
国支出金(千円)			136		報償費		
県支出金(千円)							
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	189	143				288	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	男女共同参画意識の醸成には、男女共同参画室を中心とする庁内各担当課の「男女共同参画推進計画」に基づく、女性委員を推薦できる体制の充実などをはじめとする、地道な事業の実施が必要					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	計画の進行管理において、各事業の実績を踏まえた課題を精査し、次年度の事業に活かしていく必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成26年度の計画	平成26年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H25からの繰越	
		H25⇒26繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由		流用・充当				
		平成27年度への繰越額(単位:千円)				

平成27年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	男女共同参画推進センターの管理運営に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	9	
政策	14個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります	担当課室	市民活動推進課			
施策	143男女共同参画社会づくり	担当課室長	大伯 昌司			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	センターの役割や機能等について、あらためてセミナー、広報、ホームページ等あらゆる機会(媒体)を通じ、PRをしていくことで利用促進を図る。	③平成27年度に取り組む改革・改善内容	来所者数、イベント参加者数の増加を目的として、事業の企画、PRチラシの作成などに携わる職員、センタースタッフのスキルを向上させていく。
②①に基づく取組み結果	ホームページトップ画面の変更、各種事業でのセンターのPR、フェイスブック、ツイッターなどの活用により、来所者数対前年比147人増、HPアクセス数約2,400回増となった。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市民・職員・事業所	意図(対象をどうするのか)	セミナーの実施や情報誌の配布により、男女共同参画意識の醸成を図る。
②事務事業の概要	①男女共同参画セミナーの実施 ②公募市民の編集委員による、男女共同参画情報誌「ほほえみ」の作成事業の実施 ③「女性のための相談」の実施			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	市民の趣味・志向が多種多様化してきていることから、事業の企画立案にあたっては、求めるニーズを把握しつつターゲットを絞った事業の実施が必要			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果	男女共同参画週間事業、行政・市民企画セミナー等を実施し、延べ1,527人の参加を得られ、市民編集委員による企画・立案のうえ、情報誌を発行し市内全戸配布を行い、男女共同参画意識の醸成が図れた。また、女性のための相談では、135件の相談があった。						
②成果を表す指標	指標名称		平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
	i	男女が平等であると考える市民割合		20.1		%	市民意識調査
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算(事業費)の主な内訳		平成27年度予算		
事業費(千円)	5,703	6,660	金額(千円)	内容		7,101	
国支出金(千円)			892	報償費			
県支出金(千円)			2,621	非常勤職員賃金			
市債その他(千円)			1,469	委託料			
一般財源(千円)	5,703	6,660				7,101	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	社会情勢等を考慮し、時代のニーズを的確に把握したセミナー等の実施が課題					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	各種事業の参加状況やアンケート結果を踏まえたうえで課題を精査し、次年度の事業に活かしていく必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成26年度の計画	平成26年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H25からの繰越	
		H25⇒26繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由			流用・充当			
	平成27年度への繰越額(単位:千円)					

平成27年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	人権施策に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	9	
政策	14個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります	担当課室	市民活動推進課			
施策	411地方分権と市民参加の推進	担当課室長	大伯 昌司			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	人権啓発活動における新たな試みとして、スポーツ組織と連携した事業に取り組む	③平成27年度に取り組む改革・改善内容	認知度が高いとは言えない人権擁護委員活動の周知を図っていく。
②①に基づく取り組み結果	少年野球大会開会式におけるミニ人権教室の実施、チラシ及び啓発物品の配布、大会期間中の横断幕掲示など「こどもの人権110番」の周知が図れた。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市民	意図(対象をどうするのか)	相談や啓発を通じて人権尊重が図られる
②事務事業の概要	生活を営む中で発生する人権侵害を解消するため、人権擁護委員が相談・啓発活動を実施する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	インターネット上での掲示板への誹謗・中傷などの書き込みによる、人権侵犯と疑われる事例が多くなってきている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果	毎月、市で実施している人権相談では3名の利用があり、小学校で人権教室(低学年:9回(969人)、中学年:3回(164人))、中学校では人権講演会(1回:459人)をそれぞれ実施し、相談及び啓発活動により人権尊重思想の高揚が図られた。						
②成果を表す指標	指標名称		平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
	i	市民の意見や要望が市政に反映されていると思う市民の割合		26		%	市民意識調査
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算(事業費)の主な内訳			平成27年度予算	
事業費(千円)	737	665	金額(千円)		内容	1,222	
国支出金(千円)			134		備品購入費		
県支出金(千円)	373	265	346		負担金	425	
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	364	400				797	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	インターネットを中心とした人権侵害事例が増加する一方で、ヘイトスピーチなど新たな問題が発生している。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	相談の利用状況、事業のアンケート結果を踏まえたうえで課題を精査し、次年度の事業に活かしていく必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成26年度の計画	平成26年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H25からの繰越	
		H25⇒26繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由			流用・充当			
	平成27年度への繰越額(単位:千円)					

平成27年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	自治会集会所整備助成事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	9	○
政策	14個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります	担当課室	市民活動推進課			
施策	141個性豊かなコミュニティづくり	担当課室長	笠井 真利子			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	鎌ヶ谷第二区連合自治会館建て替えの助成を行う。	③平成27年度に取り組む改革・改善内容	自治会集会所を所有していない新山町会に対して、集会所新築の助成を行う。
②①に基づく取り組み結果	鎌ヶ谷第二区連合自治会館建替えに関する、解体事業及び新築事業への助成事業が完了した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	自治会集会所の建設を予定している自治会	意図(対象をどうするのか)	地域コミュニティと自治会活動の活性化を図り、自治会加入率増加にもつながる。
②事務事業の概要	地域のコミュニティ活動及び福祉、環境、防災の拠点となる自治会集会所への新築等に際し補助金を助成するもの。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	自治会集会所の老朽化が進んでいることから、早期着工、早期建設に向けた要望が増加することが予想される。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果	鎌ヶ谷第二区連合自治会館解体・新築事業への補助金交付						
②成果を表す指標	指標名称		平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
	i	自治会加入世帯数	29,398	29,407	29,442	世帯	業務取得
	ii	自治会加入率	68	68	67	%	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算(事業費)の主な内訳		平成27年度予算		
事業費(千円)	21,010	33,623	金額(千円)		内容	33,000	
国支出金(千円)			33,000		新築補助		
県支出金(千円)			623		解体補助		
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	21,010	33,623				33,000	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	自治会集会所の建て替えを希望している自治会が複数あることから、それぞれの自治会との連絡調整を行っていく必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	集会所を所有していない自治会や、集会所の老朽化が激しい自治会が複数あるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成26年度の計画	鎌ヶ谷第二区自治会館解体・新築事業への補助金交付	平成26年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	鎌ヶ谷第二区連合自治会館解体・新築事業への補助金を交付した。	33,623	33,623	当初	33,623	33,623	H25からの繰越	0
				H25⇒26繰越	0			
				補正	0			
③達成状況	完了			流用・充当	0		現年分	33,623
④未完了・非着手の理由				平成27年度への繰越額(単位:千円)				0

平成27年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	各種相談に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	12	
政策	41計画の実現のために	担当課室	市民活動推進課			
施策	411地方分権と市民参加の推進	担当課室長	笠井 真利子			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	各種相談の利用率向上を図るべく、実施している相談のPRや相談回数の見直しを行う。	③平成27年度に取組む改革・改善内容	拡充による改善状況を精査し、引き続き見直しを行う。
②①に基づく取組み結果	各種相談のうち特に利用の多い法律相談について、平成27年度より相談回数を増加した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市民	意図(対象をどうするのか)	各種相談を通じて、安心した市民生活や市民福祉の向上を図る。
②事務事業の概要	市民が社会生活を営む中で発生する、人間関係や金銭トラブルなどの様々な諸問題の解決のため、各種相談を実施するもの。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	少子高齢化社会、高度情報化社会などの急速な生活環境の変化によって、相談内容も多岐多様となってきた。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果	年間382件の相談を受け市民福祉向上に寄与した。					
②成果を表す指標	指標名称		平成24年度	平成25年度	平成26年度	算定根拠
	i	相談件数	377	386	382	業務取得
	ii					
	iii					
③事務事業のコスト	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算(事業費)の主な内訳		平成27年度予算	
事業費(千円)	1,638	1,686	金額(千円)	内容	1,693	
国支出金(千円)			1,685	弁護士報酬		
県支出金(千円)						
市債その他(千円)						
一般財源(千円)	1,638	1,686			1693	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	市民生活に係る各種トラブルを解決していくために、今後も引き続き市民相談を提供する必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	各種相談に対する市民ニーズが高いため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成26年度の計画	平成26年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績		当初		H25からの繰越		
		H25⇒26繰越				
③達成状況		補正		現年分		
④未完了・非着手の理由		流用・充当				
平成27年度への繰越額(単位:千円)						

平成27年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	コミュニティセンターの管理運営に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	13	
政策	14個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります	担当課室	市民活動推進課			
施策	141個性豊かなコミュニティづくり	担当課室長	笠井 真利子			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	非常勤職員が常駐する3館(鎌ヶ谷、南初富、道野辺中央)について、指定管理者制度を導入するための手続きを行う。	③平成27年度に取り組む改革・改善内容	今年度から始まった指定管理者制度について、モニタリングについて方法を検討し、実施する。
②①に基づく取り組み結果	鎌ヶ谷、南初富、道野辺中央の3館において、指定管理者制度導入の手続きを行い、平成27年4月より導入されることとなった。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	地域住民	意図(対象をどうするのか)	市民相互の交流を深め、人間性豊かな地域社会の形成を図る。
②事務事業の概要	コミュニティエリア毎に整備されている6館のコミュニティセンター及び軽井沢集会所について、市民の自主的活動の場を提供するため、施設の維持管理を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	市民交流を深め、人間性豊かな地域社会づくりを進める上で、市民にとって身近な地域活動の拠点となっている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果	鎌ヶ谷、南初富、道野辺中央の3館における、指定管理者制度の導入						
②成果を表す指標	指標名称		平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
	i	①1施設当たりの利用者数	16,392	17,958	17,818	人	業務取得
	ii	②1施設当たりの管理運営費	7,174	8,078	8,612	千円	業務取得
	iii	③一人当たりの管理運営費	438	450	483	円	業務取得
③事務事業のコスト	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算(事業費)の主な内訳		平成27年度予算		
事業費(千円)	48,831	53,159	金額(千円)	内容	55,095		
国支出金(千円)			15,050	賃金			
県支出金(千円)			10,813	委託料			
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	48,831	53,159			55,095		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	指定管理者制度が導入された3館について、モニタリングについて方法を検討した上で実施し、指定管理者に対する適正な管理を行う。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	コミュニティセンターは、地域住民の活動及び交流の拠点となっており、今後も多くの利用が見込まれるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成26年度の計画	平成26年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績		当初			H25からの繰越	
		H25⇒26繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由		流用・充当				
		平成27年度への繰越額(単位:千円)				



平成27年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	コミュニティセンター等改修事業	会計	款	項	目	多額経費
政策	14個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります	一般	2	1	13	○
施策	141個性豊かなコミュニティづくり	担当課室	市民活動推進課			
		担当課室長	笠井 真利子			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	北中沢コミュニティセンター外壁・屋上防水、空調設備改修工事を前年度から繰越し行う。また、南初富コミュニティセンター外壁・屋上防水工事を行う。	③平成27年度に取組む改革・改善内容	鎌ヶ谷コミュニティセンター外壁補修工事設計委託及び軽井沢地区集会所外壁・屋上防水改修工事設計委託を行う。
②①に基づく取組み結果	北中沢コミュニティセンターの外壁・屋上防水改修工事及び南初富コミュニティセンター外壁・屋上防水工事を行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	地域住民	意図(対象をどうするのか)	コミュニティセンターの適正な維持管理を図ることにより、地域コミュニティの活性化を図る。
②事務事業の概要	公共施設の長寿命化に関する基本方針に基づき、コミュニティセンター設備の改修を行うもの。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	各施設とも建築年数が経過し、老朽化が進んでいる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果	北中沢コミュニティセンター外壁・屋上防水、空調設備改修工事及び南初富コミュニティセンター外壁・屋上防水工事						
②成果を表す指標	指標名称		平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
	i	①1施設当たりの利用者数	16,392	17,958	17,818	人	業務取得
	ii	②1施設当たりの管理運営費	7,174	8,078	8,612	千円	業務取得
	iii	③1人当たりの管理運営費	438	450	483	円	業務取得
③事務事業のコスト	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算(事業費)の主な内訳		平成27年度予算		
事業費(千円)	17,354	65,476	金額(千円)	内容		2,635	
国支出金(千円)	800		35,838	北中沢外壁・屋上工事			
県支出金(千円)	0		20,630	北中沢空調工事			
市債その他(千円)	0	45,400	8,856	南初富外壁・屋上工事			
一般財源(千円)	16,554	20,076				2,635	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	各施設の老朽化が進み、維持管理費用がかさむ状況となっている。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	公共施設の長寿命化に関する基本方針に基づき、今後も計画的な改修が必要となるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成26年度の計画	公共施設の長寿命化計画	平成26年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	北中沢コミュニティセンター外壁・屋上防水改修、空調改修工事及び南初富コミュニティセンター外壁・屋上防水工事	68,837	65,701	当初	20,000	65,476	H25からの繰越	48,837
				H25⇒26繰越	48,837			
③達成状況	完了			補正	0		現年分	16,639
④未完了・非着手の理由				流用・充当	-3,137			
		平成27年度への繰越額(単位:千円)		0				